

ファイル（データ）の改ざん

被害状況

- ・情報の授業で作成したファイル（データ）は、校内 LAN 内を利用してファイルサーバに保存する仕組みにしていたが、作成者本人が知らないところでデータが改ざんされていた。
- ・ファイルを改ざんされた生徒は 1 人で、教員が作成したデータを利用して、その後の授業を進めた。
- ・生徒 A を中傷する内容にファイルが書き換えられていたので、ファイルを改ざんした者は学校内の人間と推測できるが、アクセスログを取得していないため犯人の特定には至らなかった。

学校のコンピュータ環境・利用状況・セキュリティ対策について

- 校内のパソコン利用状況 -
 - ・情報の授業で作成したファイル（データ）は、教員の指導のもと校内 LAN の生徒 LAN 側設置されているファイルサーバに保存する。
 - ・ファイルサーバへのアクセス権は設定せず、コンピュータ室のパソコンからはすべての生徒がファイルサーバ上のフォルダやファイルにフルアクセスできる。
- 校内のセキュリティ対策 -
 - ・生徒側の LAN から教職員側の LAN へはアクセスできない仕組みにしている。
 - ・ファイルサーバへのアクセス状況を調べるためのログデータは取得していない。

発見の経緯

- ・発見方法：授業時に被害を受けた生徒からの申し出
- ・発生日時：平成 16 年 5 月 20 日 13 時頃
- ・発見日：平成 16 年 5 月 20 日 13 時頃
- ・事実確認：平成 16 年 5 月 20 日 13 時頃

被害への対応

- ファイルを改ざんされた生徒 A への対応 -
 - ・対応日：平成 16 年 5 月 20 日 13 時頃
 - ・対応担当者：情報担当教員（授業を担当している教員）
 - ・対応方法：ファイル改ざんを行った者の特定はできない旨を伝達。
5 月 20 日の授業は、教員が作成したファイルを利用して授業を実施。
授業終了時にバックアップファイルを作成することを指導。
- 在校生への対応 -
 - ・対応日：平成 16 年 5 月 24 日～平成 16 年 5 月 28 日 情報の授業時
 - ・対応担当者：情報担当教員
 - ・対応方法：改ざんの実態と問題点の説明。
情報モラルの再確認。
定期的なバックアップデータ取得の指導。

今後の対策と効果

- ・システマ的な対策として、生徒個人にユーザアカウントを作成し、ファイルサーバのフォルダやファイルにアクセス権を設定、作成者本人のみがアクセスできる環境を導入。
- ・アクセスログを取得することを検討したが、生徒を監視することにもなりかねないので、アクセスログの取得の導入は見送った。
- ・パソコン教室の利用に際して利用ルールを作成し、ルールを遵守するよう情報の授業時に情報担当教員が情報モラル指導とあわせて徹底的に行う。

デマ情報のチェーンメール

被害状況

- ・学校そばの公園にタレントが来るというその情報が学校内に広まり、数日間生徒がそわそわしていた。
- ・学校の電子メールを利用して情報交換をしていたため、一時的に学校のサーバの応答時間が低下した。

学校のコンピュータ環境・利用状況・セキュリティ対策について

- 校内のパソコン利用状況
 - ・校内のパソコン教室から生徒は自由に電子メールを利用することができる。

発見の経緯

- ・発見方法：生徒同士の噂話を先生が聞き、先生宛にメールを送ってもらった。
- ・発生日時：平成 16 年 2 月 24 日 10 時頃
- ・発見日：平成 16 年 2 月 26 日 11 時頃
- ・事実確認：平成 16 年 2 月 26 日 12 時頃

被害への対応

- 生徒への対応 -
 - ・対応日：平成 16 年 2 月 26 日 15 時頃
 - ・対応担当者：各クラスの担任
 - ・対応方法：タレントが学校のそばに来るという事実はないことを伝え、チェーンメールを流すことは情報モラルに反する事を説明。
情報の真偽を確かめる事の重要性の確認。

今後の対策と効果

- ・情報の真偽を確かめることの重要性を教科情報の授業中に指導
- ・チェーンメールなど、不要な転送を行わないよう情報モラルを育成
- ・不確実な情報やチェーンメールの情報を教職員が把握するために、一時的にメールの中身を検閲し、メール内容のチェックを実施
- ・不幸のメールなどのチェーンメールに対応するための、チェーンメール受信用アドレスを作成し、チェーンメールを学校内でとどめる体制を整備

卒業アルバムの販売

被害状況

- ・他校の卒業アルバムがインターネットオークションに出品され落札された。
- ・卒業アルバムには、卒業生の氏名・住所・電話番号が記載されており、落札者に個人情報が流出する可能性があった。
- ・インターネットオークション業者が個人情報出品を禁じた利用規約に違反しているとして、出品を削除した。

学校のコンピュータ環境・利用状況・セキュリティ対策について

- 校内のパソコン利用状況 -
 - ・パソコン教室のパソコンにはフィルタリングソフトを利用して、インターネットオークションやショッピングサイトの閲覧はできない。
- 卒業アルバムについて -
 - ・卒業アルバムには生徒の顔写真・住所・電話番号が記載されている。
- 校内のセキュリティ体制 -
 - ・校内セキュリティ管理体制が組織的に整備されている。
 - ・情報セキュリティポリシー等、規定は整備されている。
 - ・職員が定期的にセキュリティ関連の情報を収集し、毎月1回開催されるセキュリティ委員会で対策等を検討している。

発見の経緯

- ・発見方法：事件が新聞に掲載された
- ・発生日時：平成15年10月27日
- ・発見日：平成15年10月28日

被害への対応

- 校内セキュリティ管理組織での対応 -
 - ・対応日：平成15年11月12日 16時頃
 - ・対応担当者：セキュリティ委員会メンバー
 - ・対応方法：収集されたセキュリティ事故等の情報を委員会メンバーで共有し、同じ事例が発生しないよう対策を検討。

今後の対策と効果

- ・生徒や保護者に対して、個人情報の取扱いについて説明会等の開催
- ・卒業アルバムを配布してから数ヶ月間はインターネットオークションサイト等を教職員が注意深く閲覧
- ・卒業アルバムへの住所・電話番号の記載について、今後も継続して記載するかどうか検討

掲示板による情報漏えい

被害状況

- ・女子生徒 A は携帯電話を利用して電子掲示板を利用していた。いつも利用している電子掲示板に女子生徒 A の友人がいたずらで、女子生徒 A の通っている学校名、携帯電話の番号を書き込んだ。
- ・女子生徒 A の携帯電話に 1 日に 50 件ぐらいの電話がかかってくるようになった。学校名も記載されていたが幸いストーカー行為の被害は見受けられなかった。

学校のコンピュータ環境・利用状況・セキュリティ対策について

- 校内のセキュリティ対策 -
 - ・学校内のセキュリティポリシーに基づくセキュリティ管理体制が整っている。

発見の経緯

- ・発見方法：女子生徒 A からの相談
- ・発生日時：平成 16 年 5 月 6 日 17 時頃
- ・発見日：平成 16 年 5 月 19 日 16 時頃
- ・事実確認：平成 16 年 6 月 2 日 15 時頃

被害への対応

- 書き込みをしてある電子掲示板への対応 -
 - ・対応日：平成 16 年 5 月 19 日 17 時頃 ~ 平成 16 年 6 月 2 日 17 時頃
 - ・対応担当者：相談を受けた教員・情報担当の教員・校内セキュリティ管理責任者
 - ・対応方法：相談を受けた教員が情報担当の教員ならびに校内セキュリティ管理責任者への状況説明と対応策の検討と方針の決定。
書き込みがされている電子掲示板と書き込みの確認。
学校側から電子掲示板設置者に対して書き込み削除とログの開示を依頼。
情報担当教員と専門家による開示されたログの調査。
 - ・対応作業量：学校内の対応人数 3 人
学校内の対応時間
学校外の対応人数 1 人（ログ解析の専門家）
学校外の対応時間 3 時間（ログ解析の時間）
 - ・費用の概算：専門家によるログ解析費 3 万
- 女子生徒 A への対応 -
 - ・対応日：平成 16 年 5 月 19 日 16 時頃～17 時頃
平成 16 年 6 月 2 日 16 時頃～17 時頃
 - ・対応担当者：相談を受けた教員
 - ・対応方法：女子生徒 A と保護者を交えた面談を実施し、携帯電話番号変更のアドバイスを実施。
学校内の調査で判明したことの状況説明。

今後の対策と効果

- ・全校生徒に対して電子掲示板やチャットの利用に際してのマナー指導ならびに不快な書き込みを発見したときの対処法の指導。
- ・家庭におけるインターネットの扱いに対する指導の協力要請通知文を保護者に対して発信。
- ・被害の状況に応じては警察への届出を検討。